

## 吉野川で遊ぼう！！



高知県本山町

こんにちは。川遊び大好きアクティブ系河川管理者「遊び人のM」です。  
吉野川で遊ぼう！！では、自ら体験し、川を楽しみ、感じたことを発信します。  
第14回は「吉野川カヤック～まだまだいける～」です。



四国吉野川で開催されたラフティング世界選手権 2017 盛り上がりましたね～♪

徳島県三好市を拠点とする日本代表女子チーム「ザ・リバーフェイス」が7年ぶりの優勝。

遊び人Mが尊敬するカヤック界のレジェンド貝本宣広さん（大豊町）が所属する「R6 Masters」は、マスターズ（40歳以上）男子で4種目全てを制して総合優勝しました。

選手の多くが、吉野川のラフティング体験のリバーガイドをしているので、世界チャンピオンの漕ぐラフトをぜひ体験してみてください。

7月号から4か月連続のカヤックとなりました。またカヤックなの？と思われたみなさん。

## 吉野川は、7月～10月まで夏です！

（みんなカヤックが大好きなんです）

水温はまだ暖かいですが、濡れて風が吹くと少し肌寒く感じました。風を防ぐ装備があれば、まだまだカヤック行けます。総勢14人（初カヤック3人）のにぎやかなダウンリバーとなりました。コースは、いつもの寺家パンです。

今回、沈して吉野川の川底を見たのは2人でした。



## 体験レポート (from T大のM)



はじめてのカヤック体験はとても楽しかったです。最初は川の水の冷たさに怯みましたが、慣れてしまえば問題なし。瀬では、沈しないようにとにかく漕ぎまくっていて、普段使わない筋肉が相当鍛えられました。流れに揉まれ、何とか瀬を越えると、何だかカヤックの動きが重たい。先輩より「(船内の)水抜いたほうがいいよ」とアドバイスを受け、水を抜いてみるととても軽くなり、違いに驚きました。また、穏やかな水面をのんびり下っている時は、癒し効果満点で日ごろの疲れが

吹っ飛びました。ぜひ再挑戦したいと思います。次回は日焼け止めを忘れないように気を付けます！（が、いつも忘れま

す）  
ノー沈のMさん。ホッとした様子でしたが、絶対、沈した方が楽しいですよ。次回はぜひ。

## 体験レポート (from 期待の☆だ)



中学生の自然の家体験カヌー以来のカヌーに心ドキドキ。（今回はカヤックと呼ばれるもので、まったく違うものでした）。徳島市から1時間半でスタート地点に到着しました。徳島の天候は曇りでしたが、川を下り始める頃には青空が広がっていました。水温は9月ということもあってか少し冷たかったです。

カヤック乗りのベテランの方に、乗り方や漕ぎ方、沈脱の仕方等を教わり、いざ出発！最初は蛇行ぎみでしたが、初心者でも時間の経過とともにまっすぐ進んでいくことができました。

しばらくの間、下っていくと、**ゴーゴー**と音が聞こ

えてきました。この音が聞こえてくると瀬が目前という合図です。瀬とは川の流れが激しい所のことで、カヤックの醍醐味である『沈』のホットスポットです！私はいくつかの瀬を難なくこえ「意外と沈せずともいけるのでは？」と余裕を持っていましたが、油断したその途端、水中へと引きずり込まれました。そう、人生初“沈”を体験したのです！周りからは、「おめでとう」「沈してこそカヤック！」といったお祝い(?)の言葉をもらいました。

初体験のカヤックでしたが、仲間たちと青空の下、ワイワイガヤガヤ川下りを存分に満喫することができました。今後もどんどん挑戦していきたいです！

(余談)

カヤック後、大豊名物『ひばり食堂のカツ丼』を食べに行きました。運動後だったからか、カツ丼(大)をペロリと完食。お腹も満足しました!!!



カヤックで川をくだったり、沈して川底を見た人は、それからの川との接し方が少し変わるんじゃないかな。と思ったりしています。